

主な民間助成制度

主催者	トヨタ自動車株式会社	公益財団法人トヨタ財団	三井物産株式会社	公益財団法人日本ナショナル・トラスト協会	都市緑化機構	独立行政法人環境再生保全機構
名称	トヨタ環境活動助成プログラム2020	国内助成プログラム	三井物産環境基金	ナショナル・トラスト活動助成	花王・みんなの森づくり活動助成	地球環境基金
助成対象活動	「生物多様性」「気候変動」 【活動例】 ■絶滅危惧種・稀少種の保護 ■生態系保全のための環境学習・体験の実践 ■森林保全や再生のための植林活動 ■省エネルギー、自然エネルギー等の活用・普及等	「未来の担い手と創造する持続可能なコミュニティ地域に開かれた仕事づくりを通じて」をテーマとして公募、二つの領域を設定 ・事業実施に向けた調査への助成を目的とした「しらべる助成」 ・地域課題解決とその担い手育成をめざす事業への助成を目的とした「そだてる助成」	「活動助成」 申請者が主体的に取り組む持続可能な社会の実現に貢献する「実践的な活動」 A. 地球環境…自然の変化をモニタリングし、その結果に基づく必要な警鐘と対応につながる活動 B. 資源循環…資源の効果的管理および活用につながる活動 C. 生態系・共生社会…生態系サービスの保全と利用、並びに生態系と人間が共存するための調整につながる活動 D. 人間と社会のつながり…環境問題を基盤にした、人と社会の関係の再構築に繋がる活動	A 土地所有状況調査助成 土地を購入しトラスト活動を推進する準備段階で、候補地の土地所有状況調査にかかるもの B 活動実践助成 (1) 自然保護のために土地を購入するための費用 (2) 自然保護のために土地を借りるための費用 (3) トラスト団体の立ち上げにかかる費用 (4) 実践助成を活用して取得したトラスト地に係る維持管理費用	国内で身近な緑を守り育てる活動(持続可能な森づくり活動、緑を守り育てる人づくり活動、花と緑のコミュニティづくり活動、地域の生物多様性を守る活動、等)	環境保全活動 ・はじめる助成 環境保全に資する活動、地域に根差した活動 ・つづける助成 環境保全に資する活動、同種の環境保全活動を継続的に続けることを目指す活動、さまざまな主体と連携しその後の発展を目指す活動 ・ひろげる助成 環境保全に資する活動、団体にとって、新しい課題・分野・手法に取り組もうとする活動 ※他に、フロントランナー助成、プラットフォーム助成等あり
応募資格	民間非営利団体、NPO・NGO、公益法人および法人格を持たない任意団体やグループを含む。 [営利企業、国、地方自治体、学校(幼稚園から大学を含む、国際機関(政府間協定で成立した機関)等は、助成対象外]	運営の中心となる組織の法人格の有無・種類は問わない	日本国内に拠点をもつ、特定非営利活動法人(NPO法人)、一般社団・財団法人、公益社団・財団法人、大学、高等専門学校のうち、活動実績が3年以上ある団体(法人格取得以前の活動実績も含まれます)。	A 土地所有状況調査 自然環境の保全等を目的として、1年以内に、地権者との交渉の開始やトラスト地の取得を目指している団体(申請時点では法人格の有無は問わない) トラスト団体を立ち上げようとしている個人も可能 B 活動実践助成(以下の条件を満たすこと) ・法人格を有すること(NPO、一財、公財等) ・非営利の活動団体 ・組織体制が整っていること	NPO、市民活動団体、自治会(よりよい環境を次世代に継承することを目的に、身近な緑を守り育てる多様な活動に取り組む団体よりよい環境を次世代に継承することを目的に、身近な緑を守り育てる多様な活動に取り組む団体)	一社、一財、NPO、任意団体 ・はじめる助成 活動実績1年以上、設立10年以下、過去に当該基金の助成実績ないこと ・つづける助成 活動実績1年以上、直近3年間にはじめる助成を受けた団体であること、または過去に当該基金の助成を受けたことがない団体であること ・ひろげる助成 活動実績3年以上であること
助成額	国内プロジェクト支援 上限300万円 日本国内在住団体による、環境を保全するための地域に根差した活動を助成 国内小規模プロジェクト支援 上限100万円 今まで当助成プログラムで助成を受けたことがない日本国内在住団体による、環境を保全するための地域に根差した活動を助成	1億(しらべる助成・そだてる助成合計) A.しらべる助成: 上限 100万円/件(2018年度実績平均99万円) B.そだてる助成: 上限なし(過去3年間の実績平均654万円/2年)	上限なし。但し、案件の効率的な実施に必要と認められる金額の範囲内。	A 土地所有状況調査 1件につき上限30万円 B 活動実践助成 1件につき上限800万円	森づくり活動と環境教育活動に要する費用を対象として、1・2年目各50万円、総額2,000万	・はじめる助成、つづける助成 50～300万円(一年あたり) ・ひろげる助成 200～600万円
助成期間	2021年4月より2年以内	A.しらべる助成: 2020年10月1日から2021年9月30日(最長1年間) B.そだてる助成: 2020年10月1日から2022年9月30日まで(2年間)	2020年4月より3年以内	B 活動実践助成 最長5年(単年度ごとの申請)	2020年3月～2022年3月まで(最長2年間)	2021年4月1日～2022年3月31日 *メニューにより1年～3年間
募集期間・締切	2020年4月6日(月)～9月3日(木)(必着)	2020年4月1日午前9時～6月8日午後3時	2019年9月24日(火)24時	A 随時募集 B 2020年8月21日(金)	2019年8月1日(木)～10月14日(月)	新規団体、継続団体とも 2020年11月5日(木)正午～12月2日(水)13時
選考期間	一次選考 2020年4月6日～9月3日 一次選考結果通知 2020年11月 本選考結果通知 2021年1月末	2020年9月末までに連絡(メール)	1次 2019年9～10月 2次 2019年11～2020年1月 3次 2020年2～3月 採択決定 2020年4月	2020年9月～10月 2020年11月 決定通知	2020年1月中旬～下旬審査 2月下旬助成決定	2021年3月中旬ごろ内定予定
採択率に関する情報	2019採択状況 国内プロジェクト 9件 国内小規模プロジェクト 6件	2019の状況 しらべる助成 応募数105件、助成16件 そだてる助成 応募数228件、助成11件	2019実績 応募86件、助成12件、総額5,680万円	2019年実績 3件 480万円	2019採択 森づくり活動 20件	2019年3月20日 2019年度決定 はじめる助成 11件 つづける助成 43件(県内2件)*継続含む ひろげる助成 112件*継続含む
助成対象費用			以下の費用を助成対象とします。 ・人件費(下記参照) ・旅費・交通・宿泊費 ・機械・物品購入費 ・業務委託費 ・借料・会議費・通信・印刷 ・その他 助成の対象とならない費用 大学高等の場合、所属する常勤の人件費は助成対象外。	A 土地所有状況調査助成 トラスト候補地の土地所有状況調査に係る費用(不動産登記事項証明、公図など取得の手数料、コピー代金、交通費) B 活動実践助成 自然保護のための土地購入、賃借代金、登記費用、賃借料、団体HP開設、パンフ印刷費用等	活動に必要な苗木・器具・資材等の購入費、団体関係者以外の専門家の指導等への謝金・交通費、参加者が活動する際の保険料等 ※他団体への助成費、会員を対象とした飲食代、会員の労務費、交通費、保険料は、対象とならない。	賞金(アルバイト、若手プロジェクト)、謝金、旅費、物品・資材購入費、借損料・役務費、事務管理費 ※有給役員に対する謝金・賞金(若手プロジェクトリーダーの活動推進費除く)、個人または団体に贈与される寄付金、義援金、贈答品等、飲食に係る経費
参考	https://global.toyota.jp/sustainability/esg/challenge2050/challenge6/ecogrant/	https://www.toyotafound.or.jp/community/2020/	https://www.mitsui.com/jp/ja/sustainability/contribution/environment/fund/application/index.html	http://www.ntrust.or.jp/gaivo/joseikin.html	https://urbangreen.or.jp/grant/kao_minnan_omori	https://www.erca.go.jp/ifge/subsidy/index.html

主な民間助成制度

主催者	独立行政法人環境再生保全機構	セブンイレブン記念財団	国土緑化推進機構	国土緑化推進機構	国土緑化推進機構	三菱UFJ環境財団
名称	地球環境基金 LOVE BLUE助成	環境市民活動助成	緑の募金事業(一般公募 国内緑化)	緑の募金事業(災害に強い森林づくり)	緑の募金事業(子ども達の未来の森づくり)	環境保全整備事業(植樹活動支援)
助成対象活動	<p>清掃活動など、水辺の環境保全活動</p> <p>以下の4種類の形態に助成 ①実践 ②知識の提供・普及啓発 ③調査研究 ④国際会議</p> <p>民間の非営利団体(NGO・NPO)が行う環境保全活動で、国内の環境保全活動に限定</p>	<p>自然環境の保護、保全 ・森林の保護、保全 ・里地里山、里海の保全 ・その他自然環境の保護・保全</p> <p>野生動植物種の保護・保全</p> <p>総合環境学習</p> <p>暮らしの中のエコ活動</p>	<p>複数の都道府県にわたるなど広域的な見地から事業効果の波及が期待される活動 ①森林の整備・緑化(植栽・下刈・間伐等の作業)を行う事業 ②緑化推進を目的とするイベントの実施で、広く「国民参加の森林づくり」について働きかけができるもの ③川上と川下の連携や、広く一般参加を呼びかけて行う森林整備等 ④次世代の育成やリーダーの育成に資する森林環境教育を含めた森林整備 ⑤間伐材等の利用・加工を行うなど、森林循環の促進に通じる森林の整備 ⑥その他、上記に準ずる森林整備及び緑化推進を目的とする事業、イベント等</p>	<p>複数の都道府県にわたるなど広域的な見地から事業効果の波及が期待される活動 ①国土保全機能発揮のための森林の整備または緑化の推進(簡易な森林土木工事と一体的に行うものを含む) ②海岸防災林の整備(簡易な森林土木工事と一体的に行うものを含む) ③森林の整備と連携して行う林業・森林土木技術の研修 ④森林の整備と連携して行う普及啓発活動</p>	<p>小中学生の「森の学び」を支援するとともに森林環境教育のフィールドとしての地域のシンボルとなる森づくりを目的とした事業 ①小・中学生の「森の学び」(森林環境教育)のフィールドづくりと教育・体験活動等を行う事業、または未来に引き継ぐ地域の象徴的な森林づくりを行う事業 ②NPO、自治会、森林ボランティア団体、自然学校等の組織が、単独又は地方自治体、小・中学校等と連携して、企画・実施する事業 ③整備した森林が将来に亘って、確実に維持管理される事業*①～③の全てを満たすこと</p>	<p>植樹対象地は、原則、公有地、又は公的機関(国公立の幼稚園・小中学校・高校・大学、公園、病院等)の施設内 ※民有地であっても公益性の高い場合は認める場合あり</p>
応募資格	<p>NPO、一社、一財、公社、公財、任意団体</p> <p>助成活動関連分野における活動実績を1年以上有していること</p>	<p>NPO法人、一般社団法人、任意団体</p> <p>※一般財団法人、公益財団・社団法人、観光協会等は対象外</p>	<p>(1)自主的、組織的な活動で事業を完遂できること。 (2)交付金の使途に係る条件遵守が確実であること。 (3)営利を目的としない民間団体で、次の①から④の要件をすべて満たしていること。 ①定款、寄付行為、又はこれに準ずる規約を有すること。 ②団体の意思を決定し、要望に係る活動を執行する組織が確立していること。 ③自ら経理し、監査することができる会計組織を有すること。 ④活動の本拠としての事務所を日本国内に有すること。</p>	<p>(1)自主的、組織的な活動で事業を完遂できること。 (2)交付金の使途に係る条件遵守が確実であること。 (3)営利を目的としない民間団体で、次の①から④の要件をすべて満たしていること。 ①定款、寄付行為、又はこれに準ずる規約を有すること。 ②団体の意思を決定し、要望に係る活動を執行する組織が確立していること。 ③自ら経理し、監査することができる会計組織を有すること。 ④活動の本拠としての事務所を日本国内に有すること。</p>	<p>(1)自主的、組織的な活動で事業を完遂できること。 (2)交付金の使途に係る条件遵守が確実であること。 (3)営利を目的としない民間団体で、次の①から④の要件をすべて満たしていること。 ①定款、寄付行為、又はこれに準ずる規約を有すること。 ②団体の意思を決定し、要望に係る活動を執行する組織が確立していること。 ③自ら経理し、監査することができる会計組織を有すること。 ④活動の本拠としての事務所を日本国内に有すること。</p>	<p>原則、国、地方自治体及び公的機関、並びに任意団体・NPO法人等の市民団体</p>
助成額	2021年は総額1,350万円	<p>活動助成 NPO、一般社団法人 上限100万円 任意団体 上限100万円 NPO基盤強化助成(総額1200万円) 1団体あたり 上限400万円 花と緑の助成 1団体あたり 上限50万円 清掃助成(総額2200万円) 1団体あたり 上限30万円</p>	1事業あたりの上限200万円	1事業あたりの標準事業費200万円(限度額300万円)以内	1事業あたりの上限額100万円	寄贈金額は原則30万円を目途とし、中長期の優良案件は最大50万円
助成期間	2021年4月1日～2022年3月31日(最大3年間)	活動助成 最大3年間	2020年7月1日～2021年6月30日	2020年7月1日～2021年6月30日	2020年7月1日～2021年6月30日	
募集期間・締切	2020年11月15日(木)正午～12月2日(水)13時	2020年10月1日(木)～11月16日(月)	2020年2月1日(土)～3月15日(日)	2020年2月1日(土)～3月15日(日)	2020年2月1日(土)～3月15日(日)	随時申込み
選考期間	2021年3月中旬ごろ内定予定	<p>最終審査会 3月中旬 助成決定 4月中旬(花と緑の助成、清掃助成は3月中旬に決定)</p>				
採択率に関する情報	<p>2020年度採択 12団体 2019年度採択 12団体 2018年度採択 12団体 2017年度採択 8団体</p>	<p>2020年度 活動助成 269件助成</p>	2018年度 72件 5,800万円	2018年度 21件 2,700万円	2018年度 46件 3,200万円	5団体助成中
助成対象費用	<p>賃金(アルバイト、若手プロジェクト)、謝金、旅費、物品・資材購入費、借損料・役務費、事務管理費 ※有給役員に対する謝金・賃金(若手プロジェクトリーダーの活動推進費除く)、個人または団体に贈与される寄付金、義援金、贈答品等、飲食に係る経費</p>	助成の種類により異なる。	<p>宿泊費、交通費、保険料、整備委託費、看板、資材費、資材運搬費、指導者謝金、事務費</p>	<p>宿泊費、交通費、保険料、整備委託費、看板、資材費、資材運搬費、指導者謝金、事務費</p>	<p>宿泊費、交通費、保険料、整備委託費、看板、資材費、資材運搬費、指導者謝金、事務費</p>	原則、苗木代金を支援
参考	左記同様	http://www.7midori.org/josei/	http://www.green.or.jp/bokin/volunteer/activity-support	左記と同様	左記と同様	https://muef.or.jp/muef/kankyo-hozen-seibi-ijgyo/syokuiu/category-syokuiu-annai

主な民間助成制度

主催者	三菱UFJ環境財団	三菱UFJ環境財団	(一財)自然環境研究センター 公益信託富士フィルムグリーンファンド	公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団	公益財団法人日本環境協会	TOTO水環境基金
名称	環境保全整備事業(里山保全活動支援)	環境保全整備事業(学校ビオトープづくり支援)	FGF助成(活動助成)	環境保全プロジェクト助成	藤本倫子子ども環境活動活動助成基金	国内助成
助成対象活動	・対象地は、公益性に富んだ目的と里山保全に値する確かなフィールドであり、原則公有地とする。民有地の場合でも、所有者との関係に問題がなければ可 ・活動参加が市民等に開かれているオープンな活動であること ・整備された里山の活用計画として、市民や子供向けの環境教育活動を実施すること(自然観察等の自然体験会、植樹イベント開催等)	専門指導員のいる団体と提携して、児童・生徒と先生、保護者、地域住民等が協働してつくる学校ビオトープづくり	・身近な自然の保全や、自然とのふれあいを積極的に行っている人々に対し助成 ※「身近な自然」…地域の里地や緑地、学校の樹木等を最小限のスケールとし、園芸の範疇に入るものは対象外 ※「自然とのふれあい」…自然と接し親しむだけではなく、上記のフィールドにおいて自然環境保全、自然環境教育、自然環境保護思想の普及に資する啓発につながるもの	・原則として、国内において「自然保護」「環境教育」「リサイクル」「気候変動対応」など広く環境に関する分野で、実践的活動や普及啓発活動を行うもの ・原則として2018年度中に開始予定のもの(すでに開始されているプロジェクトも対象) ・継続性、発展性を持つプロジェクトであり、その成果が公益のために貢献するもの	子ども達による環境活動に対して助成します。子ども達が自主的に取り組む、身の回りにおける自然の調査・観察、地域の環境を良くしようとする活動、環境についての学習などが助成の対象	・地域の水環境や生物多様性の保全・再生につながる実践活動 ・スタートアップ・ステップアップをめざす市民団体の活動 ・国内活動に限る
応募資格	確りしたリーダーとコア・メンバーが存在し、目的に沿った具体的な今後3年間の活動計画(含む大まかな収支計画)があり、本当に資金支援が必要な状況下にあること	全国の保育園・幼稚園・こども園、小学校、中学校の中で、当財団が過去支援していない先	・営利を目的としないこと ・活動フィールド(日本国内)ができる限り申請者によって既に確保されているなど、活動フィールドの基盤がしっかりしているもの ・個人もしくは団体申請において、活動の実績があるもの(ある程度実績があり、発展的な活動や研究を行うための申請であれば対象となる)。など	次の2つの条件を満たす団体が対象となります。 ① 2019年12月末時点で公益法人、NPO法人または任意団体としての環境保全活動実績が2年以上あること ② 助成対象となったプロジェクトの実施状況および収支状況について適正に報告できること (助成実施後、活動報告書等を作成すること)	【環境活動おうえんプログラム(対象:小学生および中学生のグループ)】 最低5人以上のメンバーが参加する、地域のこども会、こどもエコクラブなど、小学生と中学生によって組織されるグループ 【自然体験おうえんプログラム(対象:幼稚園、保育所、認定こども園)】 幼稚園、保育所、認定こども園の園長先生	・営利を目的としない市民活動団体(法人格の有無や種類を問わない) ・目的や内容が特定の宗教や政治等に偏っていない団体 ・暴力団等、反社会的勢力と交際、関係が無い団体
助成額	年30万円	上限25万円	「活動助成」「研究助成」合わせて助成総額は850万円で、助成件数は8件程度	1プロジェクトにつき20万円を上限(10団体程度、総額200万円を予定)	10万円を上限 (団体1名あたり2,500円上限)	総額2,750万円 1件につき上限80万円/年×3年(最大240万円) 申請された活動内容・予算内容を精査の上、助成金額を決定
助成期間	原則3年間	2020年4月～2021年3月	原則1年(場合により2年)		2019年4月1日～2020年2月28日	2021年4月1日～2024年3月31日(最長)
募集期間・締切	随時申込み	2020年5月15日(金)～6月15日(月)	2020年5月7日(木)	2019年10月31日(木)	2020年1月1日～1月31日	2020年4月1日(木)～2020年10月18日(日)
選考期間				2019年12月末		2021年2月下旬
採択率に関する情報		年間最大5件	「活動助成」「研究助成」合わせて助成総額は846万円 2019年度実績:9件	(総額は200万円を予定)10団体		2020年度 4団体(国内)採択
助成対象費用	里山保全活動の推進のために必要な機械・器具類、資材、消耗品等の諸費用	整備作業に必要な資材・消耗品等の直接経費。機械等の購入費や交通費・人件費・飲食費等の間接経費は対象外。	助成に係わる活動及び研究の実施に要する費用 備品…汎用性の高いPC、車両等は× 機材、材料費…申請内容により判断 人件費…外部講師、専門家への謝礼はOK、活動に恒常的に携わる人件費は不可 交通費…研究助成のみ旅費、宿泊費を認める	助成対象となったプロジェクトに関するものであれば、用途は問わない	環境活動おうえんプログラム 交通費、図書購入費、消耗品費、通信費、雑費 自然体験おうえんプログラム 図書購入費、消耗品費、通信費	活動や事業に必要な経費(助成金額の20%までスタッフの人件費等の運営経費を含むことができます) 【助成対象外となるもの】 ①活動実施時以外の飲食代(講師・団体スタッフのみでの飲食等) ②専門性を伴わない(団体内で実施可能な)作業の外部委託費、有償ボランティアなどの日当 ③マスコミ広告費用 ④その他、当社が助成対象として不適当であると判断した費用
参考	https://muef.or.jp/muef/kankyo-hozen-seibi-jigyosato-yama-hozen	https://muef.or.jp/muef/kankyo-hozen-seibi-jigyoschool-biotope/menu-biotope-annai	http://www.iwrc.or.jp/service/shintaku/documents/yoko_fgf_ken2020.pdf	https://www.sompo-ef.org/project/project.html	https://www.ieas.or.jp/activ/prom_01_00.html	https://jp.toto.com/company/csr/environment/mizukikin/spirit/thought.htm

主な民間助成制度

主催者	コメリ緑育成財団	公益財団法人イオン環境財団	公益財団法人花博記念協会	国立青少年教育振興機構
名称	緑化活動・研究活動助成	環境活動助成事業	花博記念協会助成	子どもゆめ基金
助成対象活動	<p>①緑化植栽活動 花や緑にあふれるふるさとづくりを目的とした、道路沿いや公園隣地などで行う「花いっぱい運動」など、地域住民が自ら行う植栽活動</p> <p>②自然環境保全活動 緑豊かなふるさとづくりを目的とした、山林や河川敷、里地里山などで行う自然環境の保護保全活動や整備、植樹活動</p>	<p>テーマ 「人と自然が育む豊かな森づくり」</p> <p>① 植樹 ② 里地・里山・里海の保全・河川の浄化 ③ 自然環境教育 ④ 野生生物・絶滅危惧生物の保護</p>	<p>テーマ 「自然と人間の共生」</p> <p>① 調査研究(生きものの分布などの調査研究、植物と人間に関する調査研究などやその成果発表) ② 活動・行催事(生き物の保全、育成に関する活動、花と緑の効果的な普及啓発につながるイベント等) ③ 復興活動支援(東日本大震災および熊本地震の被災地における仮設住宅の周辺などにおける花や緑を活用した復興活動)</p>	<p>■子どもの体験活動の振興を図る活動への助成 1. 子どもを対象とする体験活動 ・自然観察、キャンプなどの自然体験活動 2. 子どもの体験活動を支援する活動 ・子どもの体験活動の指導者養成 など</p> <p>■子どもの読書活動の振興を図る活動への助成 ■子ども向けソフト教材を開発・普及する活動への助成</p>
応募資格	<p>個人でのお申し込み不可</p> <p>①活動地域が団体所在地の市町村であること ②営利を目的とした団体・活動ではないこと ③他の団体・個人への助成ではないこと ④業者に植樹・植栽を委託し実施する緑化活動ではないこと (地域住民が自ら行う活動であること) ⑤自治体の指定管理者として管理している施設・場所で行う緑化活動ではないこと</p>	<p>実地を伴う活動に積極的に取り組んでおり、以下の項目を満たす団体(運営団体の法人格有無及び種類は不問)</p> <p>① 基本テーマに沿った活動を実施する ② 日本国内に窓口があり、既に1年以上の活動実績を有する ③ 速やかな活動報告ができる</p> <p>※助成対象とならない団体 ① 実地を伴わない活動や学術研究 ② 他への助成事業を実施している団体 ③ 株式会社等の営利団体 ④ 設立後1年未満の団体</p>	<p>① 公益法人(財団法人、社団法人) ② 特定非営利活動法人(NPO) ③ 人格なき社団のうち非収益団体で代表者の定めがあるもの(ボランティア団体など)</p> <p>※日本国内に活動の場を有する団体であること。 ※応募しようとする事業の実施者であること。 ※営利を目的とせず、公益性を有する事業を実施する団体であること。 ※応募する事業にかかわる活動実績を有している団体であること。 ※ 国や地方公共団体、独立行政法人、民間企業、学校法人でないこと。</p>	<p>当該団体が自ら主催し、子どもの健全な育成を目的に子どもの体験活動や読書活動の振興に取り組む団体が助成の対象</p> <p>(1) 公益社団法人、公益財団法人又は一般社団法人、一般財団法人 (2) 特定非営利活動法人 (3) 上記(1)(2)以外の法人格を有する団体(次に掲げる団体を除く。) ① 国又は地方公共団体 ② 法律により直接に設立された法人 ③ 特別の法律により特別の設立行為をもって設立された法人 (4) 法人格を有しないが、活動を実施するための体制が整っていると認められる団体</p>
助成額	上限・下限なし	総額1億円	<p>① 調査研究: 1件当たり100万円以内で、4分の3以内 ② 活動・行催事: 1件当たり50万円以内で、4分の3以内 ③ 復興活動支援: 1件当たり50万円以内で、5分の4以内</p>	1活動あたり活動規模により50万円～600万円
助成期間	2021年4月1日～2022年3月31日	2020年4月1日～2021年3月31日 上記期間を超える活動は改めて翌年申請	2021年4月1日～2022年2月28日(任意の期間)	2020.4.1～2021.3.31
募集期間・締切	2020年8月1日(土)～2020年10月31日(度)	2019年6月1日～8月20日 (毎年同様)	2020年8月3日(月)～9月11日(金)	郵送の場合2020.10.1～11.10 電子申請の場合 2020.10.1～11.24
選考期間	2020年12月下旬			
採択率に関する情報	2019年度 48団体	2019年度 111件	2019年度 調査研究: 7件、活動・行催事: 13件	R2福井県内実績 応募21件 採択19件
助成対象費用	<p>緑化植栽活動(対象となる費目) ・花木費(樹木・苗・種・球根など) ・資材費(鉢・プランター・肥料・用土・農薬・マルチ・防草シートなど) ・植栽道具(移植ゴテ・ジョウロ・スコップ・鎌・鋏など)</p> <p>自然環境保全活動(対象となる費目) ・材料費(樹木・苗・種・球根など) ・資材費(肥料・用土・農薬・杭・木材など) ・植栽道具(移植ゴテ・ジョウロ・スコップ・鎌・鋏など) ・備品費(保護保全に必要な機械・道具など)</p>		<p>備品費、消耗品費、使用料・賃借料、印刷製本費、通信運搬費、賃金、謝金、旅費交通費</p>	<p>謝金、旅費、雑役務費及びその他経費</p> <p>参加者の旅費や飲食代、団体構成員(家族を含む)の勤務先や所属団体への支出は対象外</p>
参考	http://www.komeri-midori.org/koubo/guide.html	https://www.aeon.info/ef/environmental_activities_grant/public_offering/about.html	https://www.expo-cosmos.or.jp/main/zyosei/	https://yumekikin.nive.go.jp/about/index.html